

どうなる今年の日本経済

新春経済講演会が開催されます

【日時】 1月24日(金) 13時30分～15時

【場所】 商工観光センター

【内容】 独立総合研究所代表で近畿大学客員教授、文部科学省参与を務め、TVタックル(テレビ朝日系)やスーパーニュースアンカー(関西テレビ系)でもおなじみの青山繁晴氏による講演「この坂を登ろう、祖国は甦る」

【定員】 先着 330人

【参加費】 無料

【申し込み方法】 所定の用紙(商工会議所などに備え付け)に必要事項を記入し、ファクスか郵送、持参で商工会議所へ。同ホームページからも申し込み可。

▶詳しくは、舞鶴商工会議所(☎62・4600)へ。



▲青山繁晴氏

舞鶴の冬の定番メニュー

「かき丼」をどうぞ。～1月10日より～

舞鶴かきグルメキャンペーン協議会((一社)舞鶴観光協会・京都府漁業協同組合・(一社)舞鶴市水産協会)では、「舞鶴かき丼」キャンペーンを市内15店舗で開催します。「プリプリ」のかきと「シコシコ」とした舞鶴かまぼこの相性は抜群。バリエーション豊かな味を楽しんでいただけます。キャンペーン期間は3月31日(月)まで。

《「舞鶴かき丼」3つの条件》

◇舞鶴産のかき5個以上と舞鶴かまぼこを使用

◇舞鶴産のかきのプリプリ感を損なわない

◇おいしくてまた食べたくなる

《マップを作製》

舞鶴かき丼などが食べられるお店を紹介する「舞鶴かき丼マップ」を作製。JR東舞鶴駅観光案内所やまいづる観光ステーションなどで無料配布します。

▶詳しくは、(一社)舞鶴観光協会(☎75・8600)

へ。



▲舞鶴かき丼のイメージ

まいづる市民号で行く

ぶらり夕日ヶ浦温泉の旅

文豪 松本清張が愛した宿でお食事

北近畿タンゴ鉄道の臨時列車を利用した「まいづる市民号」を今年も運行。参加者を募集します。

【日時】 2月8日(土)9時48分 JR東舞鶴駅発、市内KTR各駅に停車。16時41分東舞鶴駅着。

【行き先】 夕日ヶ浦温泉(京丹後市)

【内容】 「丹後の湯宿あびすや」で昼食。かに会席(土産付き)、温泉の入浴も可。

【対象】 市内在住か通勤・通学している人

【定員】 90人(多数の場合抽選)

【参加費】 大人8,400円、小学生7,200円、未就学児200円。※未就学児に食事はついていません。お子様ランチを2,100円で準備可

【募集期間】 1月6日(月)～1月17日(金)(必着)

【申し込み方法】 参加者全員の氏名、年齢、代表者の住所、氏名、電話番号と乗車駅名をはがきかファクス、電子メール(eigyoubu@ktr-tetsudo.jp)で北近畿タンゴ鉄道(株)営業グループ舞鶴市民号係(〒626-0041宮津市鶴賀2065番地の4)へ。

▶詳しくは、北近畿タンゴ鉄道(株)(☎0772・22・8571、FAX 0772・25・2380)へ。

食と健康について考える

かきフォーラム・イン・舞鶴

舞鶴の水産物の中で、消費者になじみのある「かき」を通して、食と健康、食の安全をテーマに「かきフォーラム in 舞鶴」が開催されます。主催は、(一社)かき研究所(仙台市)で舞鶴市も後援。参加費無料。

【日時】 2月1日(土)13時30分～16時

【会場】 市政記念館

▶詳しくは、水産課(☎66・1020)へ。

まちの話題

「かき小屋」開店

舞鶴産の天然マガキなどを調理して提供する「かき小屋」が舞鶴漁港(府漁業協同組合舞鶴支所横(下安久))に1月25日(土)開店(予定)します。府漁業協同組合が設置し潜水漁業者グループが運営するもの。土・日曜日の11時～17時まで。予約制。

▶詳しくは、潜水漁業者グループの北村さん(☎090・8829・2527)へ。



介護人材養成校を誘致

府北部地域で介護・福祉人材の養成・確保を図るため、学校法人京都YMCA学園が運営する「舞鶴YMCA国際福祉専門学校(仮称)」を誘致。勤労者福祉センター所在地に設置することが決まりました。

これは市と府、福知山市、宮津市が総合的に連携・協力して進めている「介護・福祉人材確保総合事業」の一環として位置づけられるものです。

同校は2年制の介護福祉士科と国際観光科(それぞれ1学年定員40人)と通信制の社会福祉士養成課程を開設。平成27年4月に開校する予定です。



▲設置が予定されている勤労者福祉センター

境谷橋が完成

昨年9月の台風18号で流失した伊佐津川に架かる境谷橋(長さ約38m・幅2m)の復旧工事が完了し、12月10日から通行できるようになりました。

同橋は、伊佐津地区と境谷地区を結ぶ木造の歩行者用の橋で、流失してから利用者は上・下流に約1km離れた九杵橋、二ツ橋までう回していました。

この日の朝、さっそく子どもたちが通学に利用していました。



▲復旧した境谷橋を通る児童たち

東京で記者説明会を開催

引揚記念館収蔵資料のユネスコ世界記憶遺産登録を目指している市は、11月20日、首都圏メディアを対象にした説明会を初めて東京で開催しました。説明会には、多々見市長のほか有識者会議の黒沢会長(東京女子大学教授)らが出席。引き揚げやシベリア抑留の史実、収蔵資料の希少性や重要性、今後首都圏で展開するPRキャンペーン事業(東京タワーでの特別展や世界記憶遺産推進記念シンポジウム(仮称)など)の内容を説明しました。マスコミ関係者24社が出席し、関心の高さを感じる説明会となりました。



▲熱気に包まれた会見会場

政策づくり塾 政策発表会を開催

11月26日、市民と市職員が共に学ぶ「舞鶴市政策づくり塾」の政策発表会が舞鶴市役所で開催されました。12人の塾生が「観光振興」「公共交通」「市の財産の有効活用」の3グループに分かれ発表。その中で、市民が市の魅力をアピールできる「おみやげコンペ」やランニングとバスを組み合わせた企画「ランバス」などの政策が提案されました。

多々見市長は「どの発表も前向きでよい企画。実現可能性の高いものから検討したい」と述べました。



▲政策づくり塾の発表についてコメントを述べる市長